

授業改善のポイント 第5学年

複数の資料を関連付けて読み取る力を付ける

ねらいに応じて、必要な情報を取り出し関連付ける。

複数の資料がある場合は、まず、資料の内容を正しく読み取り、次にねらいや意図に応じて必要な情報を取り出し、それらの情報を関連付けながら自分の考えを整理していくことが大切です。

1 ねらいを確認する。

5年2組 学級目標
①仲良く協力 ②だれもがチャレンジ


この学級目標の達成を目指して、2つのイベントが計画されたよ。A案、B案のどちらが良いかな。

2 ねらいに応じて、必要な情報を取り出し、それらの情報を関連付ける。

「運動に積極的に参加できない」という意見が多いね。これでは学級目標②の「だれもがチャレンジ」は達成できないね。

二	出し物の練習やじゅんぴに協力しない人がいた。	六人
一	苦手な運動に積極的に参加できなかった。	八人

アンケート結果②
 学級目標が達成できなかったという意見（二十人）




←

必要な情報を比べたり結び付けたりする。

→

二	みんなで体を動かすと仲良くなれた。	五人
一	出し物で自分の特ぎを発表できた。	六人

アンケート結果①
 学級目標が達成できたという意見（十五人）




「体を動かすと仲良くなれた」と感じた人が多いね。だから、次のイベントで「体育館での遊び」が提案されたんだ。

3 関連付けた情報を基に自分の考えを整理する。

B案が良いけれど、みんながチャレンジできた方が楽しいイベントになるね。


内容	①おにごっこ ②ボール運動	場所	体育館
----	------------------	----	------------

B案（体育館での遊び）



内容	①室内ゲーム ②出し物	場所	教室
----	----------------	----	-----------

A案（室内での遊び）



アンケート結果と学級目標を関連付けて考えることで、次のイベントを成功させるヒントがみえてきます。

話し手の意図を正しくとらえる力を付ける

① 大切な文や言葉に線を引いたり、メモをしたりする。

話し合いの記録文を読むときは、自分の立場や考えをはっきりさせている文や言葉に注目させます。

その際、大切な文や言葉に線を引いたり、「これはA案の問題点だ」などメモを残したりしておく、全ての文を読み終わった後、整理がしやすくなります。

どの人も、一文目で、自分の立場を言っているね。B案の「竹田さんに反対」という山本さんはA案ということになるね。

問題文には、説得力のある話し方や書き方のポイントも示されています。文章を読みながら、確認していくことが大切です。

B案

竹田さん

わたしは体育館で遊ぶB案に賛成です。アンケートの結果①でも「みんなで体を動かすと仲良くなれた。」と答えた人が多かったからです。

A案

山本さん

わたしは竹田さんの意見に反対です。運動が苦手な人は、失敗することをこわがってチャレンジすることができないと思います。それに、もし失敗したら、友達から不満を言われるかもしれません。

資料を活用して、支持する立場の良さを述べています。

B案の問題点の指摘

広川さん

山本さんの意見に付け足します。前にポートボール大会をしたとき、上手な人だけがボールを使って、他の人にボールが回ってきませんでした。これでは、仲良く協力できませんし、チャレンジをしたくても参加することができません。

意見を述べる際は、まず立場をはっきりさせます。次に、理由を述べます。

B案の問題点の解決方法

司会者

なるほど、広川さんは学級目標にもふれて、B案の問題点をあげていますね。B案の問題点をかい決する方法はありませんか。

自分の意見に経験や体験を加えると説得力が増します。

竹田さん

わたしに考えがあります。この問題をかい決するにはルールを変えれば良いのです。そうすれば、運動が苦手な人も積極的にゲームに参加できると思います。

相手から問題点を指摘されても、解決方法を述べて相手を説得します。

B案への質問

山本さん

竹田さんの意見に質問があります。ただルールを変えるというだけでは分かりませんが、ルールをどのように変えると、積極的に運動にチャレンジできるのか、くわしく教えてください。

相手の意見に納得できない時は、積極的に質問をすることで話し合いが深まります。

司会者

A案とB案には、それぞれ問題点があるようです。問題点をかい決する方法をみんなでもう少し考えましょう。(このあと、話し合いは続きました。)

自分は、どちらの案に賛成しようかな。

② 資料から得た情報を整理し、
自分の意見をもつ。

自分の立場を決める際、それぞれの立場のよさ、または問題点を整理しておくと考えやすくなります。さらに、問題点に対する解決方法を考えておくことで説得力が増します。

立場を決めたら、必要な情報を取り出し、意見文に構成していきます。

	A 案	B 案
	○室内での遊び	○体育館での遊び
良 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特技や好きなことを発表する場があり、積極的にイベントに参加することができる。 ・室内での遊びでは、クイズなどみんなで楽しめるゲームや遊びができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おにごっこなどみんなで体を動かしながら楽しめる遊びや運動が多い。 ・ドッジボールやポートボールなどチームで協力しながらゲームを楽しむことができる。
問 題 点 と 解 決 方 法	<p>▲室内での遊びでは協力する場が少ない。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>必ず2人以上のグループで出し物をするようにする。そうすると友達と話し合う場ができて協力することができる。</p>	<p>▲運動が苦手な人が楽しめない。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ルールを工夫するとよい。ポートボールなら、みんなにパスを回してゴールしたら点数を倍にする。</p>

ぼくは、B案で書こう！

< B案の良さ >

ポートボールなどチームで協力しながらゲームを楽しめる。

< B案の問題点 >

運動が苦手な人は楽しめない。

< B案の問題点の解決方法 >

ルールを変える。全員パスで点数が倍になる。みんなが楽しめる。

立場を明確にして記述する力を付ける

① 自分の立場を述べ、理由も示す。

文章を構成していく際は、「構成メモ」を活用することが有効です。下の表のように「始め」「中」「終わり」の三部構成にし、選択した情報を当てはめていきます。

終わり	中	始め
④このように、○ 案の方が良いと思 います。	③二つ目の理由は、 △△△と いうこと です。	①わたしは○案に賛 成です。
理由②	理由①	立場の表明
の立場の表明 の繰り返し		

書くことを苦手にしてある児童には、各段落の書き出しの型を示します。「このように」などのつなぎ言葉は、説明文の学習と関係付け、自らの意見文に生かすように指導していきます。

自分の意見を読み手に分かりやすく伝えるには、段落を作るなど意図的に文章を構成していくことが大切になります。

今回は、第1段落で自分の立場を述べ、その理由を示していく型（双括型）が望ましい書き方といえます。

※6年生3ページ目の説明参照

② ねらいと整合させて考えを書く。

問題点と解決方法に続けて、学級目標のねらいと整合させて自分の意見を書きます。

自分の立場を好き嫌いだけで選ぶのではなく、学級目標など題材のねらいと整合させて主張や理由を書くことで、自分の意見がより分かりやすくなることを例文を使って教えます。

ぼくはA案に賛成します。なぜなら、A案は、自分の特ぎや好きなことを発表する場があるからです。しかし、A案には、みんなと協力する場が少ないという問題点があります。それを解決するには、必ず二人以上のグループをつくらなければなりません。そうすれば、友達と話し合う場ができて「仲良く協力」することができると思っています。

「中」の内容を受けて、「終わり」で学級目標のねらいと整合させて意見のまとめを書きます。

私はB案に賛成します。一つ目の理由は、運動をする人が多くなれたと感じたからです。二つ目の理由は、ポールのなどチームで協力しながら楽しめるからです。苦手な子がいても励ましたりルールを変えたりして運動にチャレンジできるようにすると良いと思います。このように、B案は、学級目標の「仲良く協力」と「だれもがチャレンジ」を達成することができそうです。